

第七十回
帝國議會
貴族院

地方鐵道補助法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和十二年三月二十五日(木曜日)午後一時四十四分開會

○委員長(公爵岩倉俱榮君) ソレデハ是ヨ

リ引續キ委員會ヲ開キマス、地方鐵道補助法中改正法律案ニ付テ他ニ御質問ゴザイマスカ

○男爵飯田精太郎君 數年前ニ鐵道ノ收入

ガ非常ニ減ツタコトガアッタノデアリマスガ、サウ云フ不景氣ナ際ニ、地方鐵道ノ補助ト

云フコトハ、鐵道財政トシテ非常ナ重荷ニナツテ、何トカ之ヲ減サナクハレバイカスト云

フコトガ大分心配サレマシテ、收縮ト言ヒマスガ、補助金ヲ成ルタケ減スヤウナ政策

ヲ執ラレタコトガアッタと思ヒマス、所ガ今度又斯ウ云フ改正法ヲ御出シニナツテ、引續

キ補助金ヲ御ヤリニナルト云フコトニナリマス、只今ノヤウニ收入ノ非常ニ好イ場

合ニハ何デモナイケレドモ、之ガ又何等カノ原因デ收入ガ減ツテ來タト云フヤウナ時

ニ、非常ナ又鐵道ノ負擔ヲ重クスルヤウナコトニナルノデハナイカト云フ點ヲ心配ス

ルノデアリマス、今度ノ改正ハ昨日來色々御説明ヲ伺ッタノデアリマスガ、今度ノ改正

デ新シク地方鐵道ヲ作ル爲ニ資金ノ吸收ヲ

出來ルヤウニシタイト云フコトガ目的ニナツテ居ルノデアリマスガ、或ハ今マデ補助シテ來テ、急ニ打切ツテハ倒レテシマフト云フヤウナ、現在アルノヲ助ケタイト云フ御趣旨デアルカ、其ノ邊ガチョットハッキリシナイノデアリマスガ、當局ノ目標ヲ一ツ御伺ヒシタイと思ヒマス

○政府委員(前田穰君) 飯田男爵御質問

ノ、新ラシイ補助法ノ主タル目標ハ何デア

ルカト云フコトハ、昨日モ大體申上ゲタカ

トモ思フノデアリマスガ、補助ヲ與ヘルト

云フコトニ依リマシテ、資金ヲ地方鐵道ニ

吸收スルト云フコトハ、昭和六年以來ノ實

績ガ到底不可能デアルト云フコトヲ示シテ

居ルト、斯ウ考ヘマスルノデアリマス、又

一面自動車ノ勃興ト云フコトニ依リマシテ、從來ハ地方鐵道デナケレバナラナカッタモノ

ガ、大部分自動車ニ依リ代ルコトガ出來ル、

デ行キ得ナイ、又今日行キ得テ居リマスル

モノデモ運賃ガ高イ、連絡ガ不便ダ、サウ云ツ

タヤウナ點デ、公衆ニ對シマシテ地方鐵道

トシテノ機能ヲ完全ニ果シ得ナイデ居リマ

スモノヲ、立派ナモノニシテ行キタイ、斯

ウ云フ考ヘ方ナノデアリマシテ、從ツテ從來

ノ補助金ノ制度デアリマスルト、行キナリ

開業サヘスレバ建設費ノ五分ガ貰ヘルト、

斯ウ云フ譯デアリマスノデ、兎ニ角十年間

ハ都合好ク行ケバ五分ノ利廻リニナルヤウ

ナ補助ヲ得ルト、斯ウ云フ方法デアリマス

ルカラ、補助ヲ當テニ計畫ヲシ、開業ヲス

ル、斯ウ云フコトガマアアリ得タ譯デアリ

相当必要ヲ認メラレマスル鐵道デモ一分足ラズ七厘、九厘ト云フヤウナ利益率カラ、二年三年ニナリマシテ一分五厘トカ、精々二分程度マデノ利益シカ擧ゲテ居ナイヤウナ實情デアリマス、是ハ良イ鐵道デ左様デアリマス、補助ヲ見越シテノ計畫ト云フヤウナ、線路ノ位置ガ惡イト云フヤウナ鐵道デハ、ソレデモサウ云ツタヤウナ利益率サヘ擧ゲルコトハ出來ナイノデヤナイカト斯様ニ考ヘマスノデ、補助當テノ計畫ト云フコトハ、非常ニ困難ニナルノデハナイカスウ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 只今ノ御説明デ大體

分リマシタガ、今御話ノ一分カラ精々二分

程度ノ利益シカ擧ラナイ相當良イ鐵道デ

モ……、ソレニ對スル補助額ト云フモノハ

ドンナ割合ニナツテ居リマスガ

○政府委員(前田穰君) 補助額ハ昨日モチ

ヨット申上ゲマシタ通りニ現度ガ、其ノ會社ノ自ラ得マシタ利益ヲ合セテ四分ニナル、斯ウ云フ譯デアリマスルガ、假リニ今申上ゲマシタヤウニ、一分ノ利益ガアルト假定致シマス、三分ノ補助金シカ上ゲラレナイ譯ニナルノデアリマス、運輸數量ニ

基イテ計算致シマス譯デ、初年度次年度ト云フヤウナ時ニハ運輸數量ガ非常ニ少イト云フコトガ當然デアリマスルノデ、從ヒマシテ各鐵道ニ依ッテ補助率ハ違フコトニナルノデアリマスルガ、最近ニ開業致シマシタ二三ノ鐵道ヲ例ニ取ッテ見マスルト、運輸數量ノ非常ニ少イモノハ一分ニモ滿タナイヤウナ程度シカ行キマセヌシ、又當初カラ割合ニ利用ガ多イヤウナ鐵道デハ、今具體的ナ實例ニ付テ申上ゲマス、一分八厘ト云ッタヤウナ率ニ上ルモノモアルヤウデゴザイマス、サウシテ利益ト合ハシテ四分ノ限度、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ

○子爵秋元春朝君 地方鐵道ガ許可ヲ申請シテ、サウシテ許可ヲナサル時ニ、先達ノ御説明デ御聽キ致シマシタガ、條件ヲ附ケテ許可ヲスル、サウシテ其ノ條件ト云フノハ、詰リ補助ヲ受ケナイト云フヤウナコトガアルヤウニ承ッテ居リマスガ、數カラ言ヘバドノ位アルデスカ、ソレカラ又ドウ云フ譯デサウ云フ條件ヲ附ケナイデモ許可ヲスルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレヲチヨット詳シク御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(前田穰君) 補助ヲ申請シナイ

條件ヲ附ケテ許可ヲシテ居リマスモノガ、今日マデニ七ツアリマス、是ハ其ノ後増減ハナイト思ヒマス、結局今日マデ七ツ、サウ云フ條件ヲ附ケタモノガアルト、斯ウ云フ意味デアリマス、是ハ補助ノ際ニ其ノ出願鐵道ノ色々條件ヲ調査致シマスル其ノ一ツニ、果シテ採算上成立チ得ルカドウカト、斯ウ云フコトガ調査サレマスル譯デアリマス、大體ニ於テ鐵道省ト致シマシテ、公益上必要デアアル、併シナガラ此ノ内容ヲ申シマス、出貨、貨物ノ出模様ト云フヤウナモノガ、見込デ經濟調査ヲ致ス以外ニハ方法ガナイ譯デアリマス、果シテ採算上此ノ鐵道ガ成立チ得ルカドウカト云フ點ニ多少ノ疑問ヲ懷クヤウナ場合モアル譯デアリマス、サウ云フ際ニ其ノ點ニ關シマシテ、會社等ノ説明ヲ色々聞キマスルヤウナ場合ニ、會社トシテハ十分ノ自信ガアルト、斯様な場合ニ、ソレデハ萬一豫定ノ如ク貨物ガ出ナイ、從ッテ成績ガ惡イト、斯ウ云フヤウナ場合ニ補助ヲ請求スルコトガナイカト云フヤウナ話合ニナリマシテ、若シ左様ナコトガアツタ場合ニハ補助ヲ申請致シマセヌト、斯ウ云フ結論ニ達シマシテ免許ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウナ經緯ノモノガ詰リ七ツアル譯デゴザイマス、從ヒマシテ其ノ後、中ニ

ハ豫定ノ如ク旅客貨物ガ出マセヌデ從ッテ最初推算致シマシタヤウナ收益ヲ得ルコトガ出來ナクテ從ッテ補助ノ申請ヲ爲シ得ルヤウナ場合ニ立至ッテ居ル鐵道モ七ツノ中ニ少シアルヤウデアリマス、今日マデ鐵道省ト致シマシテハ補助ヲ致シテ居リマセヌノデアリマス、今度法律ガ變リマスレバドウナルカ、斯ウ云フ問題ガ起ル譯デアリマスルガ、別段現行法ノ條件ノ補助ヲ申請シナイノダト、斯ウ云フノデハナイノデアリマシテ、一般的ニ鐵道省ノ補助ヲ請求シナイト、斯ウ云フ條件デアリマスルノデ、法律ガ改正ニナリマシテモ條件附ノモノニ對シマシテハ補助ヲ與ヘナイ、斯ウ云フコトガ一般的ニ申シ得ラレルト思フノデアリマスガ、唯中ニハ其ノ後色々事情ノ變遷ニ伴ヒマシテ、補助ヲ當時與ヘナカッタ事情ニ相違ガ付イテ居ルモノモナイトハ言ヘナイト思フノデアリマス、其ノ邊ハ能ク將來調査致シマシテ決定致シテ參リタイト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 サウ致シマス、斯ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマスガ、改正前ノ補助法ノ趣意カラ言ヘバ、無論條件モ附イテ居ルンダシ、實際補助ハ付ケヌ、併シ其ノ根本ノ趣意ガ今度變ッテ參ッタノデ、再檢討ヲシテ、例ヘバ補助シナイト云フ條件デ許シタ鐵道デモ、種々ノ事情トカ、或ハ色々設備ノ關係トカデ、少シグラキ、チヨット補助シテヤレバ、機能ヲ十分發揮シ、貢獻ヲスルト云フヤウナモノガアツタ場合ニハ、今度ハ是ノ趣旨ニ從ッテ幾ラカノ補助ヲスルコトモ出來ル、斯ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(前田穰君) 左様御了解ナサツテ差支ナイト思ヒマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ、御質問ガナケレバ次ニ橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ御質問ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○伯爵酒井忠克君 此ノ度政府デ橫莊鐵道ノ中ノ本莊・前郷間ダケ之ヲ買收爲サルト云フコトニ付テハ、是ハ建設上必要デアルト云フコトハ能ク了解出來マスノデスカ、此ノ橫莊鐵道ノ中ノ前郷・老方間ハ、此ノ會社ノ未成線ニナッテ居リマスルガ、是ハ永ク未成線ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ會社デ以テ之ヲ近イ中ニ建設スルヤウナ模様ガアルノデゴザイマセウカ、政府ノ方デハ其ノ御見込ガドウ云フ風ニナッテ居リマスガ

○政府委員(前田穰君) 老方・前郷間ハ相

當古イ頃、大正六年ニ工事ノ施工ノ認可ガ致シテアルノデアリマスガ、其ノ後今日マデ工事ガ進捗シテ居ナイノデアリマス、其ノ原因ハ主トシテ會社ノ財政其ノ他ノ理由デアラウト思フノデアリマス、私共ノ想像致シマル所デハ、到底今後會社ノ力ヲ以テ此ノ未成線ヲ完成スルコトハ出来ナイノデハナイカ、左様ニ想像致シテ居リマス

○伯爵酒井忠克君 ソレデハ此ノ土地ガ建

設ニ非常ニ困難デアルト云フヤウナ點デハナクシテ、財政上ノ爲ニ建設ガ遅レテ居ルト云フヤウナ意味デゴザイマスガ

○政府委員(前田穰君) 土地柄ト致シマシ

テモ、御承知ノ通りニ山ノ非常ニ多イ所デアリマシテ、比較的此ノ前後ノ區間、横手方面、本莊方面ノヤウナ平坦ナ土地ト違ヒマシテ、工事費ノ澤山掛ルト云フコトモ一ツノ原因ニハナリ得ルトハ存ジマスガ、窮極ノ所ハ力ノ問題ト考ヘテ居リマス

○伯爵酒井忠克君 鐵道省ノ方ノ敷設線ノ

方カラ見マス、本莊カラ前郷ヲ今度買收シテ、是ガ矢島ヲ通ッテ院内ノ方ノ豫定線ニ連絡シテ行クヤウニ見エテ居リマスガ、此ノ線ハ太平洋岸ニ對スル縱斷線ニナッテ居ナイヤウニ見エマスガ、此ノ横莊線ノ老

方、横手ノ既成線ハ、横手カラ省線ニ連絡

シテ、ソレガ黒澤尻カラ太平洋岸ノ縱斷線ニ最モ近い路線ノヤウニ見エマスガ、將來政府デハ此ノ老方、横手ヲ買收ナスッテ、老方・前郷間ノ未成線ノ所ヲ、之ヲ敷設法ノ改正デモ爲サル場合ニハ、敷設法ニ之ヲ御載セニナッテ、縱斷線ニナサル御考デモアリマスガ

○政府委員(河原直文君) 御答ヘ致マス、

本莊カラ前郷ヲ通りマシテ矢島ヲ通ッテ院内ニ參リマスノハ、敷設法ノ豫定線ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデハ其ノ目的ト申シマスノハ、海岸ノ羽越線ト、横手、院内ヲ通ッテ居リマスル奥羽線トノ連絡ヲスルコトガ目的トナッテ居リマス、其ノ次ニ此ノ本莊・横手間ハ、會社デ大部分營業ヲ致シテ居リマス次第デ、是ハ豫定線ニ入ッテ居リマセス、御承知ノ通り敷設法ノ豫定線ト申シマスノハ、大正十一年ニ作リマシタモノデゴザイマシテ、其ノ後十數年間經過致シテ居リマス、其ノ當時ト地方ノ情勢竝ニ交通機關ノ發達ガ大分違ッテ參リマシタノデ、議會ノ御希望モアリマシタシ、又我々ノ方ト致シマシテモ、豫定線ノ再檢討ト云フコトヲ致シテ見マシテ、又其ノ一方豫定線以外ノ所デモ、豫定線ニ比シテ劣ラナイ、又ソ

レヨリモ良イ線デアリマスレバ、敷設法ノ

改正ト致シマシテ、新シイ線ヲ追加シテ、他ノ豫定線ニ先ンジテ工事ヲ致シテ居ル次第ナノデアリマシテ、此ノ場合ニ於キマシテモ横手・本莊間ハ、日本海ト太平洋トヲ結ブニハ大變ニ適當ナ線ノヤウニモ考ヘラレマスノデゴザイマスルガ、只今申上ゲマシタ通り本莊・横手間ハ敷設法ノ豫定線ニナッテ居リマセス、併シ其ノ敷設法ノ豫定線ニナッテ居ナイト云フコトハ、是ハ只今申上ゲマシタ通り、能ク只今再檢討ヲ致シテ居ルコトデアリマス

シ、横莊鐵道ノ既成線ヲ政府ガ……、又其ノ未成區間ヲ敷設法ニ加ヘ工事ヲシテ、サウシテ横手、本莊、ソレカラ既ニ出来上ッテ居リマスル横手、黒澤尻、花巻、釜石ヲ通リマシテ、日本海ト太平洋トヲ結ブ線ヲ造ル方ガ宜イト云フ調査ガ済ミマスレバ、自然ニ本莊、横手ハ豫定線ニ加ヘテ工事ヲ爲シ、鐵道省ノ線路ニナルコトト存ジマス、只今初メニ御話ノゴザイマシタ本莊カラ矢島ヲ經テ院内ニ參ルト云フ連絡線モアリマスノデ、其ノ點ノコトハ十分ニ其ノ地方ノ情勢竝ニ地形ナドモ能ク調査申デゴザイマスカラ、其ノ調査ノ完了次第ニ適當ナ案ヲ立テテ、又御協賛ヲ得ルコトガアルダラウト思ヒマス

○風間ハ左衛門君 此ノ買收ノ價額ト云フ

コトハ此ノ備考ニアリマスガ、是デ見マシタナラバチョット分リニクイノデアリマスガ、或ハ此ノ價額ガドノ位ト云フコトヲ仰シヤルコトハ、買收上御差支ニナルカモ分リマセヌカラ、或ハ速記ヲ止メテデモ伺ヒタイノデスガ、此ノ鐵道ハ大體幾ラ位、此ノ鐵道ハ大體幾ラ位ト云フ風ナ、大體ノ金額ヲ御差支ナキ限り御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(前田穰君) 價額ハ買收ノ日ガ

決定致シマシテ、其ノ買收ノ日ノ最近ノ三箇年間ノ成績ニ依リマシテ計算致ス譯ナノデアリマス、ソレト、モウ一ツハ會社ノ帳簿ヲ三年間、必要ニ依リマシタナラバソレ以上適ッテ調べマシテ、建設費、收入、營業費ト云フヤウナモノガ間違ナイカト云フコトヲ調べ、又實際ノ線路、建物等ヲ總テ調査致シマシテ、決定致スコトニナッテ居ル譯デアリマス、從ッテ只今買收ノ價額ガ幾ラニナルカト云フコトノ計算ハ不可能ナ譯ナノデアリマス、ソコデ御質問デアリマスノデ此ノ參考書ニ載ッテ居リマスル成績表ハ、是ハ會社ノ營業報告ヲ其ノ儘寫シタニ過ギナイノデアリマシテ、此ノ成績ガ果シテ會計上此ノ通り間違ナイカドウカト云フコトハ調査ノ上デナケレバ分ラナイノデアリマ

スガ、假ニ會社ノ營業報告ニ依リマシテ、而モ八年、九年、十年ト此ノ三箇年ノ營業報告、書面カラ計算ヲ致シマシタ金額ダケ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ五分利公債ヲ發行スルモノトシテノ額面デアリマスガ、

横莊鐵道ガ六十萬圓見當、ソレカラ信濃鐵道ガ二百六七十萬圓、ソレカラ藝備鐵道ガ六百二十萬圓、北九州ガ六百三四十萬圓、合シマシテ約一千六百萬圓程度、是ハ五分利公債ノ額面ノ案デアリマシテ、之ヲ實際支給スル場合ニハ、三分五厘ニ直ス譯デアリマスガ、三分五厘ノ公債ノ額面トシテハ無論是ヨリ殖エルコトニナリマス、ソレト買收ノ期日ハ恐ラクハ會社ノ此次ノ營業年度ガ入ルト思ヒマス、ソレニ依リマシテモ變更ヲ生ズルコトデアラウト考ヘテ居リマス

○風間八左衛門君 横莊鐵道ノ考課狀ニ依リマス、借入金ガ鐵道財團デ約六十萬圓程デアアルデアリマスガ、丁度此ノ線ヲ買收サレルト、借入金ハ無クナルト云フ風ニ見テ宜イ譯デアリマス、サウ致シマスアトノ残りノ横手・老方ト申シマス所ノ營業シテ居リマスモノハ、營業成績カラ行キマス、此ノ線ヲ買收サレタ結果、アトノ残りノ線ハ營業上非常ニ困難デアルト云フ

風ニナリマスノデアリマセウカ、斯ウ云フ借入金ガ無クナル爲ニ、會社ハ此ノ線ヲ買收サレテモ現在同様、或ハ以上ノ營業成績ヲ得ルコトニナツテ參ルノデセウカ、ドウ云フ御見込デアリマセウカ

○政府委員(前田稷君) 横莊鐵道ハ二ツノ全ク隔離シタ線路トナツテ居リマスノデアリマスルガ、今回買收セラレマスル側ハ「キロメートル」トシテハ少シ短イノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ總テノコトガ東西能ク似テ居ル、東側ハ山ニ少シカカッテ居リマス關係デ、ソレダケノ差ハアリマサルケレドモ、大體カラ申セバ似タヤウナ鐵道ガ二ツアルト思フノデアリマス、從ツテ私共ノ方ノ推算ニ依リマスルト、買收前ノ東西兩方合セニシタモノト、ソレカラ買收後ノ東側ノ方ノ横手・老方間ダケヲ營業シマス場合ト、建設費ニ對スル收益率ト云フモノハ大體似タモノニナリハシナイカ、絶對金額ハ無論營業「キロ」ガ半減近クナルノデアリマスカラ、絶對金額ハ違フノデアリマスガ、建設費ニ對スル利廻リトシテハ大體似タモノニナルノデハナイカ、斯様ニ推算致シテ居ル譯デゴザイマスルガ、從ツテ殘存路線ノミデ會社ガ存續シ得ナイヤウニハナラナイノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ

マス

○青木周三君 我ハ信濃鐵道ハ電車ダツト思フノデスガ、サウスルトアレカラ先キノ方ハ、從來ノ省線モ電車ニセラレル御考ナンドスカ

○政府委員(前田稷君) 御示シノヤウニ信濃鐵道ハ電車デアリマシテ、大糸線ハ蒸氣運轉ヲヤツテ居リマス、大糸線ヲ信濃鐵道ノ電車ノ延長ニスルカドウカト云フヤウナコトハ、マダ深く研究ヲ終ツテ居ナイノデアリマス、或ハ旅客ノ流レデアリマスルカ、設備ノ狀態デアリマスルカ、サウ云フヤウナ點ヲ能ク研究致シマシテ、最モ適當ナヤウナ處置ヲ執リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○青木周三君 只今ノ御説明デ大體了解シマシタガ、併シ此ノ鐵道ヲ買收セラレルノデアリマスカラ、ドウシタラバ宜イカト云フコトヲ先キニ研究セラレテ行カクチャナラヌカト思フ、サウ云フ質問ヲ致シマス所以ハ、是ハ前カラ屢々問題ニナツテ居ッタノデシタガ、其ノ大糸線ノ方ガ今ノヤウナ蒸氣運轉ヲシテ居ルシ、信濃鐵道ハ電氣運轉ヲシテ居ル爲ニ、寧ろ信濃鐵道ノ所ハ運轉回數ガ非常ニ多イノニ、其ノ前後ノ區間ガ蒸氣

運轉ヲシテ居ル爲ニ、ドツチカト云フト、中ノ區間ノ運轉回數ヲ減サナケレバナラヌヤウナ結果ガ起リハセヌカト云フコトヲ、我我ハ心配シテ居ッタコトガアルノデスガ、ソコヲノ關係ハドウ云フ風カ、研究セラレタ結果買收ヲ極メラレルニ至ツタト思フノデスガ、ドツチノ方ニ依ラレルコトニナルノカガ多少心配ニナル、其ノコトヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(前田稷君) 現在ノ信濃鐵道ノ「サーヴィス」ヲ、買收ニ依ツテ低下スルト云フコトハシナイ積リデ居ルノデアリマス、問題ハ大糸線ト、松本以南ト申シマス、此ノ交通ガ不便デアルト云フコトガ買收ノ一ツノ重要ナル理由デアアル譯ナンデアリマス、從來ノ例ナリ或ハ鐵道省ノ考ヘ方ナリト致シマシテハ、現在ノ大糸線ノ列車回數ト云ツタヤウナ回數ダケハ、之ヲ松本ヘ直通サセルト云フ風ナ方法ヲ執ルト云フコトガ、今日マデ普通ニ考ヘラレテ來テ居ルヤリ方デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ旅客ノ流レヲ見マスルト、必ズシモ大町デ以テ打切ルコトガ良イカ悪イカ、多少ノ疑問ガアル譯デゴザイマス、殊ニ夏ノ人出ノ非常ニ盛ナ時ニハ、旅客ハ大町ヨリモ寧ロモウ少シ先ヘ、松本方面カラ多數ニ行クト云

ウ

フヤウナ傾向モアルヤウデゴザイマス、サ
ウ云ツタ方面ヲ今後研究致シマシテ、先ノ方
ヘノ流レヲドウスルカト、斯ウ云フ問題ニ
ナル譯デゴザイマス、其ノ邊ノコトヲ意味
シマシテ研究中デアルト、斯様ニ申上ゲタ
積リデゴザイマス

○青木周三君 分リマシタ、尙チヨット建設
局長ニ伺ツテ置キタイノデスガ、此ノ大糸線
ノ工事區間ハドレ位残ツテ、何時頃完成スル
積リデゴザイマセウカ

○政府委員(河原直文君) 御答ヘ致シマス、
大糸線ハ大町・糸魚川間デゴザイマシテ、全體
デ七十「キロ」五分ゴザイマス、只今其ノ中、
大町側ノ方カラ三十九「キロ」一分開業致シ
テ居リマスガ、糸魚川方面カラ十三「キロ」
七分開業ヲ致シテ居リマス、ソレ後殘リ
マシタ十八「キロ」バカリノ間ガ工事中ナン
デゴザイマシテ、全部只今工事ニ掛ッテ居リ
マス

○青木周三君 何時頃開通ノ豫定デスカ
○政府委員(河原直文君) 開通ハ十六年デ
ゴザイマス

○風間八左衛門君 之ニ直接關係ノ御質問
ガナイヤウデアリマシテ、時間ガアリマス
カラ之ニチヨット關聯シテ、「バス」ノ補償ノ
問題ニ付テ、チヨット聽イテ見タイト思ヒマ

スガ、差支アリマセスカ

○委員長(公館岩倉具榮君) 宜シウゴザイ
マス

○風間八左衛門君 是ハ既ニ豫算ノ分科會
デ大藏男爵ガ御聽キニナツタト云フコトヲ聞
イテ居ルノデアリマスガ、マダ速記ガ手許
ニ配付サレヌ爲ニ能ク見テ居リマセヌ、ソ
レデ極ク簡單ニ要領ダケ御答ヘ願ツタ結
構ダト思フノデアリマス、鐵道ノ此ノ買收
ノ方ハ此處ニチヤント率ガアリマシテ、買
收ナサルノデアリマスガ、省營「バス」ヲ御ヤ
リニナル場合ニ、ソレニ民營ノ「バス」デア
ルトカ、私設ノモノガアル、是ハ矢張り鐵
道豫定線ニ代行スベクオヤリニナルトカ、
其ノ他ノ理由ニ依テ、大體三大原則ト申シ
マスカ、サウ云フヤウナ方針デ省營「バス」
ヲオヤリニナル、サウ致シマスレバ民間ノ
既設ノ「バス」ヲ、買收デナクシテ補償ニナ
ル、是ハ自動車事業法ノ時ニモ相當論議サ
レタノデアリマスルケレドモ、何分一定ノ
率ヲ定メテ斯ウ云フ風ニ補償スルト云フコ
トハナカ／＼ムヅカシイノデ、此ノ結果營
業ヲ開始サレタ益金カ何カノ七年分トカ、
サウ云フコトガ標準ニナツテ居ル、ト
コロガ段々時代モ變ツテ來テ居リマスノ
デ、民間業者ノ方デハ、何ト申シマスカ、

補償金額ガ非常ニ少イ、ホンノ涙金ヲ

賞フヤウナ例ガアツタヤウデアリマス、
近來ハ段々良クナツテ居ルヤウニモ聞イテ
居リマスシ、又前々大臣ノ時ニモソレ等ヲ
考ヘテ、何トカ民間ノ方ニハ其ノ不平ノ餘
リ出ナイヤウウニシタイト云フヤウナコト
モ聞イテ居ツタノデアリマス、之ニ對シテノ
御答ガアツタヤウニ聞イテ居リマスガ、ドウ
云フ御方針デ今後オヤリニナルノカ、極ク
簡單デ宜シウゴザイマスガ、要點ダケヲ伺
ヒマス

○政府委員(前田積君) 自動車ヲ省ガ經營
致シマス際ニ、民營ノ「バス」ガアリマス場合
ノ補償方法ハ、自動車交通事業法ノ規定ニ
依リマシテ、勅令ヲ以テ定ムルト云フコト
ニナツテ居リマス、現在ノ勅令ハ、自動車交
通事業法制定ノ當時ニ出來マシタ勅令デア
リマシテ、自動車民營事業ハ非常ニ規模ガ
小サイ、且私人ノ經營ガ非常ニ多イノデア
リマシテ、從ヒマシテ帳簿デアリマスツカ、
統計デアリマスツカガ、自動車交通事業法制
定當時ニ於キマシテハ、非常ニ亂雜デアツタ、
信憑スベキモノガ殆ドナカツタト云フ、斯ウ
云フ事情デアリマシタノデ、已ムヲ得ズ鐵
道省ガ「バス」ヲ經營致シマシテ、其ノ利益ノ
七年分、之ヲ補償金トシテ與ヘルト云フコ

トニ制定サレテ居ルノデアリマスルガ、是

ハ甚ダ不合理デアルト云フコトハ當初カラ
分ツテ居ルノデアリマスルガ、已ムヲ得ズサ
ウ云フコトニ致シマシタ次第ナンデアリマ
ス、其ノ後段々自動車事業ヲヤツテ居リマス
ル者モ組織立ツテ參リマシテ、昨今ニ至リマ
シテハ會計帳簿デアリマスツカ統計ダトカ
云ツタヤウナモノモ、段々驚ツテ參リマシタ
ヤウナ狀態デアリマスノデ、自動車交通事
業法本來ノ精神ヲ真正面カラ見マシテ勅令
ヲ改正シヨウト、斯ウ云フコトデ昨年研究
致シマシタ結果、改正勅令案ノ内容ハ、從
來其ノ業者ガ得テ居リマシタ利益ヲ基礎ニ
スル、サウシテソレニ尙道路負擔金デアリ
マスツカ、或ハ其ノ營業ヲ讓リ受ケマシタ
場合ニ、營業權ノ代價ヲ拂ッテ居ル、ソレ等
ノモノガマダ償却ヲ終ツテ居リマセヌヤウ
ナモノガアリマシタ場合ニ、ソレ等ノ金額
ヲ見込ム、斯ウ云ツタ建前ニ變更シヨウト云
フノデアリマシテ、只今關係ノ各省ト折角
協議中デゴザイマス

○風間八左衛門君 時間ガアリマスカラ、
チヨットモウ一ツ伺ヒマス、省營自動車ノオ
ヤリニナルノハ、是マデノ御方針ト今後ノ
御方針ト、運輸局長ガオイデニナリマセヌカ
ラ……居ラシヤイマスカ……多少變ルヤウ

ナ風ニナルコトヲ我々ハ希望スルノデアリマスガ、是ハ是マデノ省營自動車ヲオヤリニナル其ノ根本御方針ト言ウテ居ラレマスモノニ副ハナイヤウナ場所デモ、省營自動車ヲ御ヤリニナッテ居ルヤウナ所ガアルノデアリマス、假ニ一例ヲ舉ゲテ見マス、私ハ京都ノ近クデ能ク知ッテ居リマスガ、京都カラ若狹ニ達スル鐵道ハ殿田カラ分岐シテ行クコトニ豫定線ハナッテ居リマス、ソレデスカラ豫定線ノ所ヲバ省營ノ自動車ヲ御通シニナルト言ヘバ、是ハ今日ノ根本方針ニ副フ譯デアリマス、ソレガ實際上ハ不便デアル、折角御ヤリニナルナラバ京都驛カラ直チニ丹波ヲ經テ參ル、サウ云フコトハ實際地方民トシテハ非常ニ便利ナンドス、ソコデサウ致シマス、其處ニハ民營ノ既設自動車ガアル、此ノ線ハサウシマスレバ相當ニア或ハ引合フヤウナ線ニナルノデヤナイカ、民間デモヤリ得ルヤウナ線デハナイカト云フヤウナコトヲ今日ハ思フノデアリマスカラ、根本ノ御方針カラ行ケバ詰リ殿田カラ省營自動車ヲ出サレノガ根本原則ト申シマス、ソレノ方ガ本當ダト存ズルノデアリマスガ、今後矢張りサウ云フ風ノ場所ガアレバ既設ノ民營自動車ガアツテモ、矢張り地方民ノ要望或ハ收益上ニモ、

其ノ方ガ經營ニ宜シト云フヤウナ風ノ御考デ、矢張り御許シニナルトカ、或ハサウ云フコトヲ御計畫ニナルトカ、斯ウ云フ風ノ御考デアリマセウカ、ドナクノ係カ存ジマセスガ……

○政府委員(新井堯爾君) 私カラ御答ヘ致シマス、大體省營自動車ノ路線ニ付テノ標準ト申シマスモノハ、從來三ツノ標準ヲ取ッテ居リマシタノデスガ、最近ニ軍事上ノ必要ト云フノヲ一ツ入レマシテ四ツノ根本原則ト云フヤウナモノヲ作リマシタノデ、今風聞サンノ御質問ノヤウナ場合ニ於キマシテ、民營自動車ガ相當發達致シテ居リマシテ、省營ニ依ラナクモ地方ノ交通ニ不便デナイト云フヤウナ所ニ付キマシテハ、省營自動車ノ進出ハ致サスト云フ方針ヲ執ッテ居リマス

○松本勝太郎君 只今自動車ノ御話ガ出テ居リマスルカラ、私モ簡單ニ御尋ネ申シテ見タイ、只今鐵道省デ御執リニナッテ居リマス御方針ハ、自動車ノ、バスノ營業線路ニ付テハ、一路線一營業主義ヲ御執リニナッテ居ルコトハ能ク存ジテ居ルノデアリマス、併シ此ノ一路線一營業主義ト云フノハ絕對的ノモノデナクシテ、或場合ニ依ッテハ競争モ已ムヲ得ナイト云フヤウナコトニモナッ

テ居ルヤウニ承ルノデアリマスガ、唯茲ニ私ガ御尋ネシテ見タイト思ヒマスルノハ、一時自動車ノ御許可ニナリマシタコトガ、相當頻繁ニ重ッテ居ルト云フヤウナ所ガ實際アルノデアリマス、ソコデ鐵道省ニ於カレテモ、又地方デハ、縣ノ方デモ成ルベク之ヲ統制シタイ、統一スルト云フヤウナコトヲ御勸誘ニモナッテ居リマシテ、相當ニ業者ニ於テモ、其ノ點ハ其ノ御方針ニ副フノガ業者ノ方デモ利益デモアリマスシ、ト云フノデ、ソレニ努メテ居ルノデアリマスルガ、唯茲ニ之ヲ買收シテ統一スルト云フ上ニ於キマシテ、杞憂ヲ持チマスル點ハ、折角之ヲ統一一致シマシテ、其ノ統一ヲスルノニハ相當ノ買收價額、又ハ辨償ト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、犧牲ヲ拂フテ折角統一一致シマシテモ、法デ以テ嚴禁シテナイ爲ニ、時ニ或場合ニト云フヤウナ口實ト言ヒマスルカ、名稱ノ下ニ、競争線ヲ許可ニナルト云フヤウナコトガアリハシナイカ、現今デハ餘リサウ云フコトハナイヤウニ思ヒマスケレドモガ、其ノ以前ニ遡ッテ考ヘテ見マスルト云フト、相當情實ヲ以テサウ云フコトハ認メラレテ居リマシタノデ、又動モスレバサウ云フ憂目ヲ見ルヤウナコトガアルノデハナイカト云フヤウナ杞憂ヲ懷キツ

ツ、統制、統一ニハ盡シテ居ルノデアリマス、ソコデ我々希望致シマスルノハ、之ヲ絕對ニスカルコトノナイヤウニ、一路線一營業ト云フモノヲキツバリ法ニ於テ極メテ置イテ戴キタイ、而シテソレハ只今ハ御取扱ノ手加減ノ上デオヤリニナッテ居リマスケレドモ、法ノ上デドウシテモ已ムヲ得ナイ場合ニハ法デ御示シニナッテ、要スルニ一路線一營業ト云フモノヲ、ハッキリ法ノ上ニ現シテ戴キタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、御當局ノ御意見ヲ此ノ際承ッテ置キタイ思ヒマス

○政府委員(前田種君) 只今松本サンノ御懸念ハ、非常ニ御尤モナ御懸念デアアルノデアリマシテ、近頃併行ノ自動車ヲ買收致シマシテ、統制ヲシヨウト云フ場合ニハ、ドノ業者モ常ニ其ノ點ニ非常ナ懸念ヲ有タレテ居ルヤウデアリマス、從ヒマシテサウ云フ際ニハ私共ノ方ニ今度此ノ自動車ヲ買收スルガ、將來ニ對スル補償ハドウナルカト云フヤウナ御質問ヲ受ケルコトモ一再デハナイノデアリマス、縣ノ當事者ニ於キマシテモ、其ノ點ニ付キマシテモ今日ノ所ハ十分統制ノ趣旨ヲ理解シマシテ、近年買收ヲシマシタヤウナ所ニ併行路線ノ出願ガアリマス場合ニハ、其ノ沿革ヲ明カニシマシテ、

斯ウ云フヤウナ沿革ノ所デアルカラ、新規
免許ヲスベキモノデハナイト云フ意見ヲハッ
キリ付ケテ參ルノガ例デアリマス、又實際
ニ私共ノ方ニ相談ヲ受ケマシタ際ニハ、具
體的ニ稍、買收セムトスル業者ノ安心ノ行
クヤウナ方法ヲ講ズルコトヲ得ル場合モア
ルノデアリマシテ、サウ云フ方法ヲ講ジテ、
安心シテ買收セラル、業者モアルヤウデア
リマス、只今ノ松本サンノ御質問ハ法律ニ
ハッキリ書ケナイカ、斯ウ云フ御趣旨デアリ
マス、一路線一營業ト其ノ例外ト云フコト
ハ、一路線一營業ノ原則ハハッキリシテ居
リマスガ、其ノ例外ヲ如何ナル場合ニ認メ
ルカト云フコトハナカ／＼明カニスルコト
ガムヅカシイヤウナ點モアル譯デアリマシ
テ、御趣旨ハ極メテ御尤モノコトと思ヒマ
スガ、其ノ點能ク考ヘテ見タイト思ヒマス
ノデスガ、直チニサウ云フ風ニ法律改正ガ
出來得ルカ否カト云フコトハチヨット御答
ヘシ兼ネル譯デアリマス、ドウカ今後ノ我
我ノ研究ニ御待チヲ願ヒタイト思ヒマス、
左様ニ考ヘマス

○松本勝太郎君 尙簡單ニ質問ラモウ一ツ
伺ッテ置キタイト思ヒマス、私ガ茲ニ改メテ
申ス迄モアリマセズ、地方鐵道軌道ト云フヤ
ウナモノハ、世ノ進運ニ反比例シマシテ非

常ナ悲運ニ陥ッテ居ルノデアリマス、統計ノ
上ニ現レテ居ルノヲ見マシテモ、辛ウジテ
收支ヲ償フテ居ルヤウナノガ三分ノ一、三分
ノ一ハ多少ナリトモ利益ノ配當ヲヤッテ居
ル、残り三分ノ一ト云フモノハ損ヲシテ居
ルト言ッタヤウナ状態デアリマス、是ハ當局
ニ於カレマシテモ御承知ノコトト存ジマス、
ソコデ今回ノ如キ補助法ヲ改正セラレマシ
テ、尙五箇年間補助ヲスルト云フ御精神ニ
付キマシテモ、我々ハ非常ニ其ノ點ハ感謝
シテ居ルノデアリマスガ、併シ五箇年ト言
ヘバ直グ經過スルノデアリマス、五箇年後
ハドウナナル御積リカ存ジマセヌガ、コ、
ニ物質ヲ以テ救済スルコトガ出來レバ是ハ
誠ニ結構ナコトデアリマスガ、到底是ハ及
バナイト思ヒマス、ソコデ我々實驗上カラ
茲ニ當局ニ御尋ラシ、且御願ト申シマスカ、
昨日大藏男ノ御質問中ニモアツカノヤウ
ニ思ヒマスルガ、業者ノ御監督ヲ鐵道省ハ
爲サツテ居ル、勿論法規ノ許ス限リ當局ハ此
處ニ御留意ガアツテ、御監督ヲ十分爲サツテ
居ルコトハ能ク承知シテ居リマス、唯我々
ガ考ヘマスルノニ、此ノ御監督ヲ爲サルト
同時ニ其ノ業者ヲシテ、其ノ業ヲシテドウ
シタナラバ活カスコトガ出來ル、救済スル
コトガ出來ルカト云フコトニ付テ御研究ニ

ナルト同時ニ、物質以外ニ便宜ヲ圖ッテ戴イ
タナラバ、十分活キル途ガアルト云フヤウ
ナ點ガ屢、サウ云フ所ニ出會スノデアリマ
ス、要スルニ眞ニ帝國ノ鐵道ノ分身デア
ル、鐵道ノ子デア
ル、孫デア
ルト云フ眞ノ慈ミ
ノ心ヲ以テ接シテ行ッタナラバ、私ハ今日以
上ノ成績ヲ擧ゲルコトガ出來得ルノデハナ
カラウカ、物質ヲ以テ出來レバ先程モ申シ
マスル通り結構ナコトデアリマスルケレド
モ、物質以外ニ便宜ヲ與ヘテヤル、圖ッテ
ヤルト云フ、モウ一ツ溫イ心ヲ以テ扱フテ
戴イタナラバ、私ハ只今困ッテ居ルモノノ全
部助カル譯デアリマセヌガ、御扱ニ依ッテハ
相當助カルノデハナイカト云フ心ガ致スノ
デアリマス、斯ウ申シマスルト、鐵道當局
ノ方ヲ何カ非難スルヤウデアリマスルケレ
ドモガ、私ガ申シマスルノハ無理カモ存ジ
マセヌ、普通ノ扱トシマシテハ決シテ私ハ
手落ちハナイト思ッテ居リマスケレドモガ、
斯カル今日ノ自動業者ト申シマスカ、運輸
業者、殊ニ短距離ノ運輸業者デアリマス、
是ハ實ニ慘メナ境遇ニアルノデアリマスカ
ラ、法規ノ許ス範圍ニ於テ、モウ一ツ進シ
デ特ニ此ノ短距離運輸業者、交通業者
ノ……此ノ交通業者ハ地方ノ發展、産業ノ
發展ニハ非常ニ盡シ來ッテ居ルノデアリマ

ス、此ノモノヲ普通以上ニ御取扱ヲ願ヒタ
イト云フノハ無理カモ存ジマセヌ、存ジマ
セヌケレドモガ、世ノ中ノ進歩ニ伴ッテ、一
番悲境ニ陥ッテ居ルモノハ何デア
ルカト申
シマスルト、交通事業ニ携ッテ居ルモノデア
リマス、交通事業デアリマス、ドウカ無理
ナ御願ヒカモ存ジマセヌケレドモガ、我ガ
帝國ノ鐵道ノ分身デア
ル、子ナリ孫デア
ルト云フ慈ミノ心ヲ今日以上ニ御持チ下サル
ト云フコトヲ私ハ御願ヒラ致シマシテ、尙此
ノ點ニ付キマシテ當局ノ御感想、今日マデ
致サレ來ッタ所ノ缺點ハ如何ナモノデア
ルカ、ドウ云フ所ニアルカ、之ヲ救フニハド
ウシタラ宜イカト云フ御感想ダケデモ、伺
フコトガ出來レバ非常ニ仕合セデアリマス
○政府委員(前田積君) 只今松本サンノ御
意見ハ、極メテ御尤モノ御意見デア
ルト存
ズルノデアリマス、今回補助法ノ改正ヲ計畫
致シマシタ趣旨モ、結局只今御話ニナリマ
シタノト全然同ジヤウナ考ヘ方ノ下ニ立ッテ
居ルノデアリマシテ、現在ノ短距離ノ鐵道
ガ色々ナ事情ノ爲ニ特ニ困ッテ來テ居ラレ
ルト云フ状態ハ、僅カバカリノ補助金ヲ支
給スルト云フコトニ依ッテ救済ノ出來ルモ
ノデハナイト、斯様ニ私共考ヘテ居ルノデ
アリマス、從ヒマシテ昨日モ申上ゲタカト

考ヘマスルガ、補助金ハ井戸ニ差シ水ヲスルヤウナモノデアルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ補助法ノ運用ニ依リマシテ、物質以外ノ援助ヲ補助鐵道ニ與ヘルト云フコトガ、非常ニ重要ナ考ヘ方ノ根柢ニ横ハッテ居リマス更生ノ方法ナノデアリマス、從來モ甚ダ至ラナイ爲ニ大分冷ヤカデアルト云フヤウナ御考ガ御アリニナルノカモ存ジマセヌガ、コ、數年來補助鐵道ニ對シマシテハ、今申上ゲテ居リマスヤウナ意味デ、補助鐵道ノ實際ノ缺陷ハ何處ニアルカト云フヤウナコトヲヨク探究致シマシテ、サウシテ會社ノ當事者ト懇談ヲ遂ゲマシテ、場合ニ依リマシテハ各方面ニアリマス補助會社ノ社務ノ擴充ノ援助マデ致シタコトモアルノデアリマス、斯様ナ考ヘ方ハ別段補助會社ニ限ル性質ノモノデハナイノデアリマシテ、總テノ鐵道ニ對シマシテ同ジ心持デ居ル、唯補助會社ニ對シマシテハ、年々補助ヲ與ヘルト云フ機會ガアリマスル爲ニ、鐵道省ノ援助ト申シマスカガ具體的ニ屢、形ニ現レル、ソレ以外ノ鐵道會社ニ對シマシテハ、左様ナ機會ガナイ爲ニ、或ハ一度モ鐵道省トサウ云ツタ話合ハスル機會ガナカッタ、斯ウ云フコトニナル場合ガ非常ニ多カラウト考ヘルノデアリマス、

私共ハ自分達ノ至ラヌヤウナコトハ是ハ屢、アツタカト存ジマスガ、精神ニ於キマシテハ只今松本サンノ御話ノ通りノ精神デ以テ、地方鐵道ノ企業等ノ面倒ヲ見テ參リタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、若シ松本サンノ御氣付ノサウ云ツタ鐵道等ガアリマスレバ、鐵道省ノ方ニヨク相談ニ行ケト云フコトラ、御指圖ヲ願ヘレバ大變宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、唯一面ニ於キマシテハ從來監督者ト被監督者ト云フ立場ノ相違ヲ、場合ニ依リマシテハ被監督者ノ方デ深ク考ヘラレル、斯ウ云フ場合モアリマシテ、從ヒマシテ餘リ求メラレナイノニ深ク立入ルト云フコトハ、却テ被監督者ニイナナ氣持ヲ起サセルト云フヤウナ懸念ノ場合モアツタ譯デアリマスカ、私共ノ精神ト致シマシテハ、數年來補助會社ニ向ッテ執ッテ參リマシタヤウナコトハ、總テノ鐵道會社ニ廣ク行ッテ、物質デ到底出來ナイコトラ精神のニ援助スル、斯様ニシテ參リタイト考ヘテ居ル譯デゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○男爵飯田精太郎君 今回鐵道省デ富士身延ト白棚鐵道ノ借入經營ヲ御ヤリニナルト云フコトデ、參考書モ戴イテ居ル、直接議會トシテハ關係ナイカモ知レマセヌガ、鐵道省ノ仕事トシテハ相當大キナ仕事ノヤウニ思ハレマスシ、又見方ニ依リマスト是ガ一ツノ地方鐵道ノ補助ノ變形トモ見ラレマスシ、又買収ノ前提トモ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ一旦斯ウ云フ線ヲ借入經營ナサイマスト、結局再ビ之ヲ民營ニ戻スト云フヤウナコトハ殆ト不可能デアラウ、最後ニハ相當ノ値デ買収スルト云フ結果ニナルデハナイカ、此ノ借入ニナル時ノ契約ノ條件トカ、或ハ借入後ノ運營方法デゴザイマスナ、運賃ノ定メ方トカ、其ノ他御差支ナイ程度デ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ此ノ借入方法ニ付テ十分、將來ドウ云フ御方針ヲ御執リニナリマスカ知レマセヌガ、困ツタモノハ皆借入レテヤルト云フヤウナコトニナリマスト、現在經營ガ成立タナイデ、缺損續キノヤウナ鐵道ハ皆借入レテ貫ヒタイト云フ風ニ殺到シテ、ソレデ鐵道省トシテハ迎モ背負ヒキレナイヤウナコトニナルデハナイカト云フヤウナコトモ心配ニナルノデアリマス、ソレ等ニ對スル御

方針ト申シマスカラ、御差支ノナイ程度デ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(前田權君) 借入經營ノ件ニ關スル御質問デアリマスガ、本年富士身延ト白棚ト二ツノ鐵道ヲ借入レルコトニ、省議決定致シテ居リマスルノデアリマスガ、此ノ二ツノ鐵道ノ借入ハ全クソレ／＼別個ノ理由ニ依リマスルコトナンデアリマシテ、一口ニ兩方ヲ包括シテ申上ゲル譯ニハ行キカネルノデアリマスノデ、別々ニ申上ゲマスルガ、富士身延鐵道ハ御承知ノ通り餘ホド前カラ運輸計畫上ノ理由ニ依リマシテ、國有鐵道ガ買収シタイ、斯様ナ考ヲ有ッテ居ツタノデアリマス、ソレ／＼色々ナ理由ガアリマシテ、サウ云フコトラ考ヘマス度ニ支障ガ生ジマシテ、今日マデ民營ノ儘デアル譯デアリマス、昨年アタリカラ買収ト云フ方法ニ依ラナイデ、而モ民營ニ依ル不便ヲ除ク方法ハ他ニ無イノデアラウカト云フコトノ研究ヲ致シマシタ結果、富士身延鐵道ノヤウナ鐵道ハ、借入ニ依ッテモ買収スルホド的確ナ效果ハ見エナイカモ知レヌガ、少クトモ民營ニ依ル民衆ノ不利不便ト云フコトハ凡ソ除カレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシタノデ、此ノ鐵道ヲ一ツ借入レテ經營シヨウデヤナイカ、斯ウ云フコトニ相

談ヲ省内で纏メマシタ次第ナノデアリマス、ソレカラ白棚鐵道ノ方ハ是ハ御承知ノ如ク、省ノ水郡線が段々開通致シテ參リマシテ、昭和五年デアリマシタカ、昭和五年ニ東館マデ參リ、ソレカラ段々六年ニ埒、ソレカラ昭和七年ニ棚倉ト、斯様ニ水郡線ノ工事が進捗致シマシテ、遂ニ全通ヲ見マシタ譯デアリマス、此ノ水郡線ノ開通ガ白棚鐵道ニ影響ヲ與ヘタ、殊ニ貨物ニ非常ニ大キナ影響ヲ與ヘタ、斯ウ云フ理由ニ依リマシテ、白棚鐵道ハ廢業ヲシタイ、從ツテ此ノ廢業ハ國有鐵道ノ開通ニ基クモノデアリマスカラ補償ヲ貰ヒタイ、斯ウ云フ申出ガアツタ、ソレデ白棚鐵道ガ國有鐵道ノ敷設ニ依リマシテ、存立スルコトガ出來ナクナツタモノデアルカドウカト云フコトノ調査ヲ致シテ居タノデアリマスガ、ソレト殆ド竝行致シマシテ、其ノ附近ノ自治體アツリカラ、白棚鐵道ノ廢業ヲ許可シテ貰ツテハ困ル、斯ウ云フ陳情ガ屢、アツタノデアリマス、其ノ點モ併セテ研究致シテ見マスト、貨物運輸ノ激減シテ居ル、國有鐵道ノ買収ニ伴ヒマシテ段々減ツテ行ツテ、結局水郡線全通シタ頃ニハ非常ナ減リ方デアル、所ガ旅客ハ必ズシモサウデハナイ、水郡線全通ノ前後ノ模様ヲ見マシテモ、大シテ減ツテ居ナイ、場

合ニ依ツテハ寧ロ増加ノ傾向サヘ示ス時期モアツタ、斯ウ云フ譯ナノデアリマス、ソコデ成ルホド貨物が殆ド零ニ近クナツタノデハ、旅客ガ如何ニ減ラナイト申シマシテモ會社ノ收支計算ハ成立タヌデアラウト、斯ウ云フ見地カラ見マスルト、廢業スルコトハ當然已ムラ得スコトカモ知レス、併シ旅客ガ減ラナイト云コトハ、此ノ鐵道ガ相當、人ノ交通ノ爲ニハ役立ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フコトガ考ヘラレル譯デアリマシテ、無下ニ會社ノ申出ヲ認メマシテ、廢業ヲ許可スルト云フコトハ果シテ公益上差支ナイモノデアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ判斷ニ苦シム譯デアリマスガ、此ノ附近ニ自動車モ相當アル譯デアアルニ拘ラズ旅客ガ減ラナイト云フコトハ相當、自動車デハ果シ得ナイ此ノ鐵道ノ使命ガアルノデハナイカト、斯様ニ考ヘラレマスルノデ、幸ヒ富士身延ヲ借入レルコトデモアリマスルカラシテ、差當リ此ノ鐵道ヲ借入レテ省デ經營シテ行キマシテ、サウシテ今後ノ交通狀態ノ推移ヲ見ルコトニシヨウト、斯ウ云フ風ニ考ヘマシタ譯デゴザイマス、デ昨年ノ暮ノ鐵道會議ニ諮詢致シマシテ、其ノ答申ヲ得マシタ譯デアリマスルガ、マダ實ハ兩方トモ會社ニ交渉ヲ致シテ居ナイノデアリマシ

テ、ソレデ非公式ニ會社ノ意嚮ハ交渉ニ應ジヨウト云フ考ヘ方デアルト云フコトヲ承知致シテ居リマスルガ、又私ノ方デ借入ノ契約ノ條件ヲ、精密ニ調査ヲ終ツテ居リマセヌノデ、交渉ヲ開始シテ居ナイノデアリマス、大體鐵道會議ニ諮詢致シマシタ時ノ方針トシテ決メマシタ借入契約ノ内容ト致シマシテハ、借入料ハドウスルカト云フ點ガ一番主ナ點デアリマスガ、昨日チヨット申上ガマシタト思ヒマスルガ、富士身延鐵道ハ前申上ゲタヤウニ買収デモシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスル鐵道デアリマスルノデ、買収スルモノトシテ幾ラノ公債ヲ發行シナケレバナラヌカ、其ノ金額ノ三分五厘ノ利子ニ當ル金額ヲ基準ト致シマシテ、サウシテ今後借入レテ經營ヲ致シマシテ、業績ガ舉ガツテ參リマスルニ連レマシテ、其ノ利益ヲ適當ナ割合デ省社分ケルコトニシヨウ、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、白棚鐵道ノ方ハ今申上ゲタヤウナ事情デアリマスルノデ、廢業シテ補償ヲ與フルトスレバ幾ラノ公債ヲヤルノデアルカ、サウ云フ金額ヲ算出致シマシテ、其ノ三分五厘ヲ借入料ノ基準トシテ、サウシテ其ノ後ノ成績ヲ加味シテ行クト云フコトハ富士身延ト同ジ考ヘ方デアツテ、借入料ニ關シマシテ

ハ、大體此ノ程度ノ根本方針シキヤ決定致シテ居リマセヌ、ソレカラ工事費ガ其ノ次ニハ重要ナ問題デアラウト思フノデアリマス、大體ニ於キマシテ保存費ハ鐵道省デ持ツ、ソレカラ改良費ハ、ハ一應省デ支辨スルコトニシナクチャナラヌカモ知レナイガ、結局負擔者ハ會社ト云フコトニシテ參リタイ、ソレカラ次ニ從業員ハ、是ハ買収鐵道ト同ジヤウニ、現業從事員ハ省ガ引繼グ、ソレカラ運賃ハ全然省線トナツタト同ジヤウナ運賃制度ノ下ニ置イテ行カウ、從ヒマシテ借入線トソレカラ省線トノ間ニ往復シマスモノハ、全部運賃ヲ通算スルト、斯様ナ仕組デ參リタイト考ヘテ居リマス、主ナルモノハサウ云ツタコトト考ヘマスルガ、尙漏レテ居リマシテ御質問ガアレバ御答ヘ致シマス

○男爵飯田精太郎君 今ノ御説明デ概略ハ分リマシタガ、何レ先程モ申シマシタヤウニ、將來鐵道ノ都合ガ付ケバ買上ゲル、買収スルト云フコトニナルノダト思ヒマスガ、省ガ代ツテ經營シマスレバ富士身延アタリデモ十分成績ガ擧ツテ、收入モ良クナルト思フノデ、サウ云フ狀態ニナツテカラ買収スルト云フコトニナルト、相當今買収スルニ比ベテ高クナルノデヤナイカト思フ、マア

地方鐵道ヲ救済スルト云フ意味カラ申シマスト結構ナコトト思ヒマスガ、其ノ邊ノコトハ何カ借入ノ際ニ御取極メニナル御方針デスカ

○政府委員(前田穰君) 其ノ點ハ借入契約ノ中ニドウ云フ形デ入レマスカ、必ズシモ買収ノ前提デハ理論上ナイ譯デアリマスノデ、ドウ云フ形式デ入レバ宜イカト云フコトヲ研究中デアリマスガ、何カ買収ヲ豫想致シマシテ、其ノ場合ノ買収價格ノ算定方法ニ付キマシテ、一應考究シタイト考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 ソレカラ白棚鐵道ノヤウニ、省ノ仕事ノ爲ニ立行カナクナツタ、併シ地方ノ希望デ廢メ爾譯ニハイカヌ、ソレデ借入レテ代ッテ經營シヤウト云フヤウナ條件ノ鐵道ガ、相當出テ來ルノデヤナイカト思ハレル、現ニ省ガ「バス」ヲ經營シタ爲ニ、立行カナクナツタト云フヤウナ鐵道ニ對シテモ、矢張り同ジヤウナコトヲ考ヘテ御遣リニナル積リデアリマスカ

○政府委員(前田穰君) 只今ノコロコ白棚鐵道以外ニ、サウ云フ必要ノアル鐵道ヲ考ヘテ居リマセス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ

○子爵秋元春朝君 先程、間接ナ問題デハゴザイマシタガ、省營自動車ノコトニ付テ御質問ガ二三アツクデアリマス、私モソレニ付テ御許シラ得テ質問ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、併シ私ノ省營自動車ニ對スル質問ハナカク項目ガ多イノデアリマシテ、チョット申上ゲテ見マシレバ、省營「バス」路線ノ選定、省營「バス」ノ收支ノ決算ニ付テ赤字ニナツテ居ルカ、黒字ニナツテ居ルカ、ソレカラ又經營費ノ全體ノ總額、又其ノ他、先程モチョット御質疑ニナツテ居リマシタガ、一路線一營業主義、之ニ對スル質疑、ソレカラ内務省ノ命ニ依ル通牒ニ關スル件、之ニ付テモ詳シク伺ッテ見タイコトガアルノデアリマス、ソレカラ尙省營「バス」ノ賃銀ノコトデアリマスガ、一「キロ」ニ付テ五厘値下ヲ行フトカ行ハヌトカ云フヤウナコトノ問題等、チョット項目ニシマシテ十五六項目、質問ノ要項ガアルノデスカ、之ニ付キマシテ、一々申上ゲテ居ッタ相當ノ時局モ實ハ要シマスノデ、皆サンノ御迷惑ト存ジマスケレドモ、是ハ一括シテ書面ヲ以テ當局ニ私カラ茲ニ申上ゲタコトニシテ御願ヒシ、又當局ニ於テモ私ガ此處デ一々問答シテ居リマシタラ相當時間モ掛リマスカラ、便宜上書面ヲ以テ御答ヲ願ヒタ

イ、而シテ私ノ質疑竝ニ當局ノ答辯ヲ要項ダケ之ヲ速記ノ上ニ現ハセルト云フコトノドウカ便宜ヲ御執リ下スツテ御許シラ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○委員長(公爵岩倉具榮君) 只今秋元子爵ガ御申出ニナリマシタヤウニ、秋元子爵ノ質疑ト當局ノ答辯トノ書面ヲ速記録ニ載セルコトハ差支ゴザイマセヌデセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハサウ云フコトニ致シマス、他ニ御質問ガゴザイマセスケレバ、本日ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマシテ、明日ハ午後三時ヨリ開會シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○政府委員(公爵岩倉具榮君) ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長	公爵岩倉	具榮君
副委員長	子爵秋元	春朝君
委員	公爵島津	忠承君
	伯爵酒井	忠克君
	男爵大井	成元君

政府委員

子爵井上 勝純君
坂西利八郎君
男爵飯田精太郎君
青木 周三君
八田 嘉明君
松本勝太郎君
風間八左衛門君
水野甚次郎君

鐵道省監督局長 前田 穰君
鐵道省運輸局長 新井 堯爾君
鐵道省建設局長 河原 直文君
鐵道省工務局長 山田 隆二君
鐵道省經理局長 工藤 義男君

〔參照〕

○子爵秋元春朝君ノ質問事項

一、省營バスノ選定ニ就テ

去ル十一日衆議院ニ於テ伍堂鐵相ノ發表スルトコロニヨレバ省營バス實施標準トシテ

第一 鐵道建設ノ先行ヲ爲スモノ
第二 國有鐵道又ハ既設省營自動車ノ機能ヲ補足シ、運輸系絡ヲ整備スルモノ
第三 新線又ハ改修道路ニシテ既設交通機關ニ乏シク地方開發上、省營自動車

實施ヲ適當ト認メラルモノ

第四 軍事上ノ必要ニ基クモノ

ト云フコトデアルカ、「第二ノ國有鐵道又ハ既設省營自動車ノ機能ヲ補足シ、運輸系統ヲ整備スルモノ」トセバコレハ見ヨウニヨツテハ全國々有鐵道ト各驛ト連絡スル民營バスノ何レニモ進出シ得ルコトトナリ、又現在運輸セル省營バスハ勝手ニ是レヲ何レノ方面ニモ延長進出シ得ルモノニテ、殆ド標準ノ意義ヲナサズ、縱橫無盡ニ計劃シ得ルコトナルカ、又「第四ノ軍事上ノ必要ニ基クモノ」トノ意味ハ鐵道、軌道ノ場合ト異ナリ省營バスハ單ニ道路上ヲ運輸スルモノナレバ軍事上民營バスタルト省營バスタルトソノ效用機能少シモ變ルトコロナキヲ以ツテ殊更斯クノ如キ標準ヲ定ムルハ只徒ラニ軍事上必要ナル各目ノ下ニ、省營バス進出ノ口實ヲ與フル手段ニ過ギザル無意義ノ事ト考フ如何。

但シ大臣ハ大體ニ於テ「民營ニ任セテ居ツテモ少シモ差支ナイノミナラズ相當經營上ノ利益ヲ擧ゲテ居ルモノハコレヲ掘グトツテ省營ニ移ス必要ハナイ」ト言明セラレ居ルユヘ、右第二、第四ノ無軌道ノ標準ニヨルモノモ民營方相

當ニ經營シテ居ル場合ハ猥リニ省營ヲ計劃セラレザルモノト解シテ宜シキヤ

省營バスニ關スル質問要項

一、昨年臨時議會デ鐵道當局ガ發表スル所ニヨレバ、省營バスノ赤字ハ全國ヲ通シテ約二萬八千九百圓ナリト答ヒ、今朝議會衆議院ニ於テノ(三月一日)答辯ニヨレバ、昭和十年度廿六萬七千九百六十一圓ナリト云フガ、或ル調査ニヨレバ收入ガ百七十五萬四千四百六十圓、支出二百四十九萬三千七百十四圓、差引七十三萬九千二百五十四圓ダガ一體正確ノ數字ハドレダケデアルカ。

又省營バス開始以來今日迄ノ總計算ニ於テ黒字デアルカ、赤字デアルカ、若シ赤字トスレバソノ金額ハ幾何ナリヤ。而シテソノ赤字ノ支出ハ何ニヨリ支辨シテ居ルカ。

「多分毎年支出スル自動車經營費ヨリ出シテキルト思フ、若シ然リトセバ次ノ質問ヲセラレタシ」

二、自動車經營費ノ今日迄使用セラレタル總額ハ如何
其内建設費ト赤字ノ内譯額ヲ區別シテ示シテ貰ヒタイ。

三、省營自動車ニ用フル車輛ハ國產品ナリ

ト云フガ大體ソノ生命ハ何料位ニテ、一走行キロノ修繕費ハドノ位ニナツテキルカ。

尙人件費ガ總收入ノ約五割ニ當ルト云フガ果シテ如何ナル數字ヲ示スカ、統計ヲ明示シテ貰ヒタイ。

四、省營實施後民營ト併行セル路線ニ於テハ、地方民ハ主トシテ民營自動車ヲ利用スル傾キアルハ各地ニ於テ明カナル事實ニシテ、又民營ヲ廢シテ省營ヲ開始シタル、栃木縣烏山・茂木間又ハ茂木・御前山間ノ如キ地元民ノ期待ニ反シ大ナル失望ト不便トヲ與ヘ、却ツテ民營ヲ慕フノ現像アリ。既ニ最近茂木地方人民百數十名ヨリ、總理大臣竝ニ鐵道大臣ニソノ事情ヲ訴ヘ、宇都宮市・茂木間ノ省營阻止ノ運動ヲナセル如キ、鐵道當局者トシテ大イニ反省スル必要ガアリト思フカ如何。

五、元來鐵道ノ自動車交通政策ハ乗合自動車ノ一路線一營業主義ニヨルモノアルヲモツテ、前記ノ如キ赤字ヲ出シ、鐵道經濟ノ負擔ヲ過重ナラシムル省營バスノ計畫ヲ拋棄シ、寧ロ地方交通ニ即シ民狀ニ適セル民營バスノ發達統制ヲ計リ國有鐵道ノ營業、補助ノ機能ヲ發揮セシムルガ時機ニ適シタモノデハナイカ。

六、若シ民營ニ不備缺陷アラバ、多少ノ補助若シクハ援助ヲナシテコレ國有鐵道ノ經營ニ順應スルヨウリドシテハドウカ。

七、省營自動車ハ昭和八年以來年々路線ヲ選定シテ、鐵道會議ニ諮リ議會ニ豫算ノ協贊ヲ經テ毎年度實施豫定ノ路線ヲ發表シ、而モソノ實現ハ鐵道省ノ都合ナリト稱シ二三年甚ダシキハ四年モ開業ヲ延期シ、時ニ或ハ之レヲ廢止スルガ如キハ實ニ極端、橫暴ナル態度ニシテ民營業者否日本自動車交通界ノ亂動搖ヲ敢テスル我儘勝手ノ仕打チダト思フ。何トナレバ省營ニハ民營ニ對シテ切り捨テ御免デアツテ、一旦省營實施ノ發表ヲ見レバ當該路線ノ營業者ハ極度ノ不安ニ陥リ、省營實現ノ曉コレヲ廢業スベキカ、又ハ是レト對立抗爭スベキカハ一ツニカカツテ補償額ノ多寡ニヨルベキモ、今日ノ如ク補償金額ハ廢業屆若シクハ會社解散ノ上ナラデハソノ額ヲ明示セズ。而モソノ明示スル時期モ又頗ル緩慢デソノ間業者ハ自己ノ趨歸ヲ決定スル態ハザル現狀デアル。例ヘバ昭和八年度ノ實施豫定ノ路線ガ今日未ダ開業ニ至ラズ、ソノ間業者ハ既ニ自己營業ノ經營ノ前途ニ對シ不安ノ立場ニアル。而シテ數年ノ後愈々實施力決定セラレル

トシテ其場合ニ斯クノ如キ有様ニテハ、
イツ迄モ生殺シニシテ置イテ最後ニ弱ツ
タ處ヲ慘殺スル結果ニナルノハ餘リヒド
イデハナイカ。

然ルニ民營免許ノ場合ニハ必ズ六十日ト
カ三月トカノ期限ガ付セラレ、其ノ期
間ガ過グルト失效ニナルノダカラ一方民
營ニ對シ省營ノ我儘勝手ハ實ニ驚クノ外
ナイ。

例エバ石川縣ニ於ケル穴水・飯田間ノ丸
中汽船會社自動車部又ハ金澤・福光間ノ金
福自動車ノ如キコレガタメニ右往左往シ
テ省營開始ト同時ニ一旦休業シタルモノ
ノ鐵道省ノ態度曖昧ナルタメ半年以上經
テ據ロナク再ビ營業ヲ開始シテ、今ヤ兩
會社共ニ省營バスト抗争セザル可カラザ
ル立場ニ至リ、甚シキハ穴水驛ニ於ケル
省民兩バス従業員ノ抗争激化ヨリ遂ニ流
血ノ一大慘事ヲ惹起シ剩ヘ省營バス従業
員ヨリ檢事局ニ向ツテ告訴ヲ提起シ、會
社側ニ於テ圓滿妥協ノ意志ヲ表示セルニ
モ拘ラズ、省營驛當局ハ運轉手個人ノ問
題ナリトシテ、コレニ應ゼズ遂ニ高壓的
態度ヲ示シタルヲモツテ、會社側ヨリモ
亦告訴ヲ提起スルニ至リ、今ヤ双方共有
罪ノ決定ヲ受ケテ控訴審ニ繫ツテキル實

狀デアルト聞ク。

尙ソノ抗争ハ省營従業員ヨリ明瞭デアル
ヤウダ。

ソノ結果ナルニヤ丸中汽船竝ニ金福自動
車ニ對スル車輛ノ取締等ハ一層他ニ比シ
嚴重辛辣ナリトノ評アリ、

果シテ然リトセバ政ヲ行フニ感情ヲ以ツ
テ民ニ臨ムト云フ由々敷事態ニシテ時局
ニ鑑ミ大イニ政府ニ反省ヲ求メナケレバ
ナラヌモノデアル。

コレニ關聯シテ金澤市内小坂神社前・森本
ニ至ル間三キロ九歩ハソノ併行セル金
福バス、北陸自動車ガ十錢ノ賃銀ヲ徴セ
ルニ對シ省營バスハ後ヨリ割込ミ一營業
キロトシテ金五錢ノ賃銀トシテ壓迫シツ
ツアル。

尙コノ結果ハ小坂驛ヨリ古屋谷ニ至ル九
キロ區間ニ於テモ金福自動車ノ廿六錢ニ
對シ廿一錢ノ不均衡ナル賃銀ヲ制定シ盛
ンニ壓迫シツツアル實狀デアル。

八、昭和十一年一月十四日內務省依命通
牒ニヨリ自動車運輸事業路線ノ道路及
通路ノ規格ニ關シ一定ノ基準ヲ定メタル
ガ、コレハ省營民營兩方ニ適用セラルル
ヤ。

九、右依命通牒ノ效力發生ノ時期如何

(理由)

從來使用セル車輛ハ道路規格ニ抵觸ス
ルモ既得權トシテコレヲ認ムル由ナル
カ、元來交通狀勢若シクハ時勢ノ變化
ニヨリコノ制定ヲ必要トナシタルモノ
ナラム。聞ク處ニヨレバ內務省ハ省營
バスニ對シテハ昭和十一年度豫定計畫
線マデ既得權ヲ認ムル由ナルカ果シテ
如何。

十、既得權ハ實際運轉セルモノニ對シテハ
當然ナルモ數年前ニ計畫セル省營バスハソ
ノ當時ハ現在路線ニテ大體差支ナカリシ
モノナラムモ既ニ依命通牒ヲ發スル必要
ヲ生ゼシ今日コレ等ノ路線ニ對シ單ニ計
畫ガアリシト云フ机上ノ理由ニヨリコレ
ヲ認ムルハ不當デハナイカ。

現在民營ニ對スルト同ジクソノ以後實施
スルモノニ對シテハ悉クコレヲ適用スベ
キナリ。

十一、次ギニ內務省ノ依命通牒ハ單ニ運輸
事業ニ關シテノミ適用セントスルモ、道
路上ニ於ケル危險ハ同ジクトラツク等ノ
運轉ニモコレヲ適用スベキカ當然ナリト
思フガ如何。

十二、道路上ニハ軌道ヲ走ル軌道車ニハ二
車連結ヲ許サザルニ鐵道省ハ軌道ナキ道

路上ニサヘバストレーラヲ以ツテ貨物ノ
運送ヲナセルハ道路交通取締上矛盾セル
點多シ、今後モコレヲ實行スルヤ否ヤ。
(若シ答辯ニ於テ實行セズト云ヘバ)

十三、聞ク處ニヨレバ昨年鐵道省ニ於テ新
タニ右トレーラ數輛ヲ注文セリト云フカ
果シテ事實ナレバコレヲドウスルカ。

十四、鐵道省ハ來ル四月一日ヨリ省營バス
賃銀ヲ一キロニツキ金五厘ノ値下ゲヲ行
フト云フ由ナルガガソリン値上ノ際時代
ニ逆行ノ處置デハナイカ、尠クトモ併行
路線ノ壓迫ナラズヤ

鐵道省ニ於テハ從來民營業者ノ賃銀値下
ゲニ當リ、他ノ競争路線ニ影響ヲ與ヘザ
ルコトヲ確守スルニカカワラズ今回ノ値
下計畫ハ全然自家撞著ナリ、如何。

十五、省營バスノ進出ハ屢々從來ノ民營支
線廢止ノ結果ヲ生ジ、地方交通上頗ル不
都合ナリ。コレニツイテハ京都府下園
部・原間・栃木縣宇都宮・茂木間等地方民ヨ
リ省營反對ノ聲アリ、コノ點ニツキテモ考
慮ヲ希望ス。

○政府委員鐵道省運輸局長新井堯爾
君ノ答辯

一、省營自動車ノ路線選定標準ニツイテハ
衆議院ニ於テ伍堂鐵道大臣ノ説明セラレ

タ通りデアリマス

御質問ニ依リマス。トアマリ融通ノキタ標準ハ標準ニナラヌトノ御意見デアリマス。ガ省營自動車ハ國トシテ運輸系統上必要ガアルト認メマス。所ニ計畫スルノデアリマスカラ、標準トシテハアレデヨイノデハナイカ、夫ヨリモ要ハ此ノ標準ヲ如何ナル具體的路線ニ適用スルカ、問題ナノデアラウト思ヒマス。殊ニ民營トノ關係ニ就テ深甚ナル考慮ヲ要スルモノガアルト考ヘマス。カラ民營デモ充分交通機關トシテノ任務ヲ果シテキルモノガアリ當該地方民モ之ヲ以テ満足シテキルト云フガ如キ場合ニハ敢テ之ヲ排除シテ迄省營自動車ヲ經營致サウト云フ考ヘハナイノデアリマス。民營ニ任セテ置キマシテハ地方交通上充分デナイト認メラルル場合ニ於キマシテ既存ノ民營業者ニ多少ノ影響ヲ與フルコトナリマシテモ社會一般ノ利益ヲ増進スルト云フ大キナ立場カラ見テ省ガ經營スルコトハ已ムヲ得ナイト考ヘルノデアリマス。唯ダ斯ノ如キ場合ニ既存ノ民營業者ニ對シマシテハ出來得ル限り影響ヲ少カラシムル様留意シマシテ且相當ノ補償ヲシタイト考ヘテ居リマス。

一、昭和十年度ノ省營自動車決算ハ二十六万七千九百六十一圓ノ赤字デゴザイマシタ。コレガ正確ナ數字デゴザイマス。

昨年臨時議會ニ於テ政府委員ガ昭和十年度ノ收支見込ハ二万八、九千圓ノ赤字ダラウト答ヘ申上デマシタガ、此ノ數字ハ當時七月末迄ノ實績ニヨリ一箇年間ヲ推定致シマシタ極ク概算デアリマシテ決算ト相違ヲ生ジマシタコトハ已ムヲ得ナイト考ヘマス、尙御質問ニアリマス。昭和十年度省營自動車ノ收支計算七十三万九千二百五十四圓ノ赤字ニ付テハ如何ナル根據ニヨルモノカ當局トシテハ全然見當ガツキマセス。

開業以降ノ收支計算ニ付キマシテハ次ノ表ノ如クデゴザイマス

年 度	收 入	支 出	差 引 損
昭和五年	三五、四〇五	四三、六二二	一七、二一七
昭和六年	一五、九四八	一六、三三三	七、三六四
昭和七年	三三、三六	三三、〇七	八、八三一
昭和八年	五七、三六	七三、六五	三三、四二四
昭和九年	一〇、四二七	一四、三〇九	三九、六〇三
昭和十年	一、六八四	一、九八八	二七、六二
計	三六、三三七	四六、七三六	一〇、三九九
(八年度以降)	三、四三八	四、三五四	八、三三七

コノ中昭和八年度以降ハ自動車會計ガ獨立致シマシテ之ハ勿論正確ナ數字デゴザイマスガ、只昭和五年カラ昭和七年迄ハ鐵道ノ附帶事業トシテ鐵道ノ事業費ヲ以テ自動車ノ建設モ經費ヲモ賄ツタ時代デアリマシテ、勢自動車丈ノ收支ノ狀況トイフコトニ付キマシテモ非常ニ正確ナ決算ハ知り得ナイ嫌ガアルノデゴザイマス。

前記表ノ支出(赤字ヲ含ム)ノ支辨費目ハ收益勘定ノ事業費中自動車費ヲ以テ決算致シテ居リマス

二、昭和五年省營自動車開始以降支出金總額ハ約一千三百六十萬圓デアリマシテ其ノ内譯ヲ申上デマス。ト建設費ニ該當スル設備費約八百九十三萬圓經營費ニ當ル事業費約四百六十七萬圓デアリマス。赤字額ハ第一問ニオ答ヘシタ通りデアリマス。

(參考)

年 度	設備費	事業費	計
昭和五年度	三五、九三	四三、六二	七九、五五
昭和六年度	一八、二七	一六、三三	三四、六〇
昭和七年度	一〇、七四	三三、〇七	四三、八一
昭和八年度	二〇、五〇	七三、六五	九四、一五
昭和九年度	二、六八	一四、三〇	一七、九八

昭和十年度 二六、七三 一九、八〇 四五、五三
計 八五、〇六 九四、六七 一三、五八
三、省營自動車ハ專ラ國產ノ中級車ヲ使用シテ居リマス。

最近國產車ノ性能ハ非常ナル進歩ヲ遂ゲ漸次其ノ命數ヲ延長シツツアルコトハ欣快ニ耐ヘマセン、省營自動車ノ車輛ノ命數ハ只今ノ處約三十萬軒ヲ目標トシテオリマス。走行一軒當リ修繕費ニ付キマシテハ大體次ノ通りデアリマス。

年 度 一車軒當リ車輛修繕費決算額
昭和八年度 四、八〇八
昭和九年度 五、二九一
昭和十年度 四、二九一
御質問ニ人件費ガ總收入ノ約五割ニ當ルトアリマスガ、之ハ支出ノ誤リデハナカラウカト思ヒマス。即チ自動車費中人件費ノ占ムル割合ハ五〇%弱デアリマシテ詳細ハ次ノ通りデアリマス。

年 度	自動車費總額	人件費	人件費割合
昭和八年度	九七、三〇六	四三、九四〇	四五、三二
昭和九年度	一六二、三六	七三、八八〇	四五、四八
昭和十年度	一〇四、三三	九八、三三〇	九四、二一

備考
本計算中ニハ東京市内ノ荷物運送ニ專用シテキル東京自動車區ノ經費ヲ含ム

四、省營自動車ハ良質ナルサービスヲ提供シテ居リマスノデ、一般ニ省營ヘ移リマスト民營當時ニ比較シテ乗車人員ハ益々増加スル趨勢ニアリマス御尋ノ鳥山——茂木間ノ例デ申上ゲマス、

本線ハ昭和九年八月ノ開業デアリマスガ民營自動車ハ其ノ年ノ十二月末ニ省營トナツテ運賃モ相當低下シタ所爲モアリマセウガ廢業致シマシタ、其ノ前後ノ乗車人員ヲ比較シテ見マスルト實ニ八割四分モ急激ニ増加致シテ居ルノデアリマス。

之ニ依ツテ見マシテモ、此ノ地方民ト雖モ一部少數者ヲ除ケバ省營自動車ヲ慕ツテキル實情デアルト考ヘラレマス

茂木宇都宮ノ路線ニ關スル反對陳情ニ付テノオ話ガアリマシタガ、省ヘモ一件參ツテ居リマスガ、同時ニ同區間ヘノ實施方請願ハ六件ニ上ツテ居リマス。

五、省營自動車ノ使命ハ鐵道交通網ト關聯スル自動車交通網ヲ整備シ兩者ノ機能ヲ融合聯繫スルコトニ依ツテ地方産業ノ助長、資源ノ開發、上必要ナル交通系統ノ完成ヲ期スルコトニアリマスノデ今日省營自動車ノ計畫ヲ拋棄シテ全部之ヲ民營ニ委ネル考ハアリマセン。

省營自動車ノ收支ハ今日ニ於キマシテハ若干ノ赤字ヲ示シテオリマスガ之ハ建設線ノ先行線ノ如キ比較的不經濟ナ線ヲ包含シテ居リマスコトト開業早々ノ新路線ヲ年々抱擁致シマス關係ニ基クモノト考ヘラレルノデアリマシテ、年次ヲ經ルニ從ツテ漸次好轉スルモノト考ヘテ居リマス。

六、民營自動車ニ多少ノ補助又ハ援助ヲナシテ之ヲ改善指導スル事モノノ考ヘ方デアリマスガ、監督權ノ發動トシテ指導ヲナシ改善ヲ命ズルコトハ當該地域ニ於ケル交通機關トシテ差當リノ交通需要充足ニ缺クル所アリヤ否ヤノ限界ニ止マルベキデソレ以上ノサービス迄ヲ命ズル事ハ如何カト考ヘラレルノデアリマス。省營自動車ヲ實施致ス場合ハ鐵道ト關聯シテ兩者ノ機能ヲ融合聯繫シ、地方産業ノ助長、資源ノ開發上必要ナル交通系統ノ完成ヲ期スルモノデアリマスノデ之ハ鐵道省自ラ之ガ實施ヲナス事ガ適當ト考フルモノデアリマス。

七、省營自動車ノ新路線ノ選定ハ鐵道會議ノ諮詢ヲ經テ發表致シマスガ、之ガ開業ニ至ル迄ニハ道路改修關係ソノ他

ニ依リマシテ直ニ實施出來ル場合モアリ、相當長引ク場合モアリマス。只ナルベク次年度ニ於テ開業致スコトヲ努力シテ居リマス。偶々選定路線ヲ削除スルコトモアリマスガ、之ハ路線選定後同路線ガ鐵道建設既定線トナリ工事が進捗シテキタトカ、又ハ民營自動車ノ經營ガ省ガ經營シナクトモ良イ位ニ改善サレタトカ其ノ様ナ事情ノ變化ニ依ルノデアリマス。

又補償規定改正ニ付テモ目下關係官廳ト打合セ中デアリマスカラ、自然、補償金額、交付時期等ノ問題モ改善サレルコトト思ヒマス。

ロ、金澤福光間ノ金福自動車ニ就テハナルホド再營業シタコトハ事實デアリマスガ、同社ハ省營ノ立場ヲヨク諒解シ、ソノ再營業ニ就テモ省ノ諒解ヲ求メテマキリマシタコトモアリ、省營ガ福光迄全通ノ曉ハ進ンデ廢業スル趣ヲ言明シテ居リ、只今迄省營トハ至極圓滿ニ進ンデマキリマシタ。

丸中汽船ガ再開業サレ省ト相對抗スルコトトナリマシタノハ甚ダ遺憾トスル處デアリマスガ本件ニ關シマシテハ問題ヲ圓滿ニ解決シタイト出來ルダケノ

交渉ヲ進メテ居リマスガ何分丸中汽船ノ場合ハ今回ノ議會請願ニアリマス様ニヒトリ省營バス丈ノ問題デナク、鐵道ノ汽船ニ對スル補償要求等ノ問題ガアルノデ未ダ解決致シテ居リマセス。偶々現業ニ從事スル從事員相互ノ間ニ多少感情上ノ行違ヒモアツタ様デゴザイマシテ相互從事員ノ毆打事件ガアリマシタガ、當局ト致シマシテハ穩便ニ取計ヒ今後ハ斯ル不祥事件ノ起ラナイ様充分注意ヲ致ス考ヘデアリマス。

ハ、省營自動車ノ運賃ノ設定ハ運賃理論ニ於テモ實際ノ適用ニ於テモ種々ノ困難ナ點ガアリマシテ本區間ノ運賃ノ如キモ非難ノ聲ガアリマスノデ近ク適當ノ機會ニ是正シタイト考ヘテ居リマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス。

八——十一

八號乃至十一號ニ於テ御質問ノ内務省發土第二號自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格ニ關スル依命通牒ノ適用ニ關シマシテハ昨年十月一日内務鐵道兩省協定成立ノ際道路ノ規格ニ關シテハ之ニ依ルコトト致シマシタ次第デ、コレカラ省營自動車ヲ實施致シマス場合ハ此道路規格ニ適合スル様ニ道路ヲ改修ス

ル考ヲ持ツテキルノデアリマス。偶々既ニ關係府縣トノ間ニ道路協定モ成立シ、開業モ亦間近ニ迫ツテキタト云フ様

ナモノニツイテハ當該協定ニ基キ開業シテキル事實モゴザイマス。然シコレトモ別ニ既得權ヲ認メタト云フ様ナコトデ

ハ無ク開業後適當ノ時期ニ更ニ道路ノ改修モシヤウト云フ考ヘヲ持ツテキルワケデアリマスシ、又既ニ開業中ノ路線デモ

將來豫算ノ許ス範圍ニ於テ漸次道路規格ニ合フ様ニ改修シテ行キタイ考ヲ持ツテキルノデアリマス。前記ノ内務、鐵道兩

省ノ協定ニ於テモカカル事態ヲ豫想致シマシテコレヲ對スル條件ヲ特ニ次ノ如ク定メテキル様ナ次第デアリマス。

「省營自動車運輸實施後ノ道路費中道路改良費ニ關シテハ左ノ區分ニ依リ其ノ費用ヲ分擔スルモノトス

A 規格ニ合スル路線ノ改良費ニ對シテハ維持修繕費(交通量ノ比ニ依ル)ニ準シ

B 規格ニ合セサル路線ノ改良費ニ對シテハ省營自動車運輸實施ニ伴フ道路改修費(府縣ニ依リ、四割、四割

五分、五割)ニ準ス。」
十二、バストレーラーハ運輸計畫上適當ナ

リト考ヘラレル路線ニ限リ今後モ使用スル考デアリマス。

道路交通取締ノ點ニ於キマシテハ種々技術的調査研究ノ結果道路上ニ使用致スモ差支ヘナキ考デアリマス。

十三、昭和十一年竣工旅客牽引自動車五輛旅客附隨自動車四輛アリマスガ之等ハ何レモ適當ナル路線ニ配置シ使用致ス心算デゴザイマス。

十四、省營自動車ノ現行運賃制度ニ付キマシテハ從來種々ノ論議ガアリマスノデコレガ改正ニツキ目下種々調査研究ヲ致シテ居リマス。研究ノ狙ヒ處トシテハ從來

最モ非難ノ高カッタ營業料程ノ點ヲ整理シ、大體ニ於テ現行運賃ト大差ナキモノトシ、萬一區間的ニ從來ノ運賃ヨリモ若

干ノ値上リヲ餘儀ナクセラルル場合ニハナルベク之ヲ少クスル様、或ハ併行民營業者又ハ地方鐵道等ノアル處デハ之等ニナ

ルベク影響ヲ與ヘナイ様ニシテ而カモ省ノ運賃制度トシテ整備シタルモノニシタ

イト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、甚ダ難シイ問題デアリマスノデ未ダ成案ヲ得テ居リマセス。

十五、省營自動車實施ニ伴ヒ民營自動車ガ廢業シ、從ツテ從來民營ノ經營シテキタ

支線ノ營業モ廢止サレタ場合ニハ、ナルベク之等支線ニモ省營自動車ヲ延長實施致シ地方交通ニ不便ノナイ様ニシタイ考デゴザイマス。

昭和十二年三月二十六日印刷

昭和十二年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局